市報 ぎょうだ
No. 837
平成28年3月1日 発行

行田 歴史系譜 264

いにしえの行田を探る 36

武士の誕生

律令体制が事実上崩壊し、兵と呼ばれた武装した土豪たちが地域を実効支配するようになると、関東の治安はさらに悪化しました。長元元年（1028）には、平良文の孫の平忠常が、房総三国（現在の千葉県）を中心に大規模な反乱を起こし、朝廷はその鎮圧のために坂東諸国に大量の兵士、武器、食料の調達を命じました。このため関東各地の村々はますます困窮し、疲弊していきました。

平忠常の乱は、戦乱で房総三国が疲弊の極に達し、忠常自身が経済的に戦を継続できなくなって帰降、長元4年（1031）にあっけなく終わります。しかしながらこの乱の影響は深刻で、房総三国以外の関東各地の田畑も著しく荒廃し、農業生産力が大きく低下してしまいました。行田市域では、田畑の荒廃で集落が維持できなくなってしまったようで、11世紀には市域で集落がほとんど見られなくなってしまいます。

真観寺聖観音像（県指定文化財）

この乱の後も関東の治安は回復せず、兵たちが武装集団を従えて、自らが実効支配する地域の治安維持や、紛争解決に当たるようになります。こうして職業軍人化した兵たちが、やがて武士と呼ばれるようになるのです。また、朝廷から治安維持のために派遣された中・下級貴族の中から、現地の武装集団を従えてそのまま土着し、武士となる者も現れました。

武士たちは対立・抗争を繰り返し、やがて強力な武士が他を統合して武士団をつくっていきます。武士団の棟梁は館を構え、家来である家の子や郎党を率いて、弓馬の練習に励みました。市域でも長野の神明遺跡で、12～13世紀ごろの武士の館と思われる館跡が発掘されています。

また、武士団の棟梁は日頃から信仰している寺社に出向き、勝利と武運を祈願しました。市域では小見の真観寺に、12世紀の聖観音像が残されています。典型的な平安時代後期彫刻の様式を示す見事な像で、最近の調査で割矧造であることが判明しています。像製作の経緯は不明ですが、当時の武士たちも、この像に武運長久を願っていたのではないかと想像されます。

（文化財保護課　中島洋一）

こぜにちゃんwithフラベえが行く！ 福祉施設編

レイズアップ
（運営：社会福祉法人 福潤の会）

ものつくり大学のすぐ西側にある「レイズアップ」。この施設の名前には「誰もが輝けるように」という思いが込められているんだね。

現在の利用者は32人。社会で自立した生活を送るために、漢字を読み書きする能力や計算する力を養ったり、製品の組み立てなどの訓練を行ったりしているよ。介護ヘルパーやパソコン検定の資格を修得する人も大勢いるんだ。お互いに刺激し合い切磋琢磨しているから、就職率も非常に高いんだって。また、利用者が就職して施設を「卒業」した後も悩みを聞いたりアドバイスをしたりと寄り添った支援を行っているんだ。これなら施設を卒業した後でも安心して仕事に励めるよね。

一般企業への就職を目指して、皆さんキラキラした表情で各種訓練に取り組んでいたよ。それぞれの夢の実現に向けて頑張ってもらいたいな。

【住所】前谷504―1　【電話番号】594―6113

このコーナーで紹介する施設を募集していますので、希望される場合は広報広聴課までご連絡ください。

今月の表紙

2月4日、ベリーズファーム・ハセガワで北小学校3年生の児童を対象に農業体験事業が行われました。

この事業は、行田市地産地消推進協議会が地産地消の推進や農産物知識の向上を目的に実施しているもの。この日、いちごの収穫を体験した子供たちは、大粒のいちごに大満足の様子でした。

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。

■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。

■市報をデイジー版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。

VEGETABLE OIL INK
環境にやさしい植物油インキ
市報ぎょうだは再生紙を使用しています

■編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361―8601 行田市本丸2番5号
TEL 556―1111 FAX 550―2116